

令和4年12月27日

# 日立理科クラブ通信



No. 191

日立理科クラブ

## 第8回活動・ひたち科学探検少年団

12月25日(日)、教育プラザで行われた日立理科クラブ主催のひたち科学探検少年団の活動を紹介します。第8回活動(団員6名)は地球環境についてです。内容は、

- 1 地球温暖化
- 2 水の問題
- 3 食料の問題
- 4 工作「分光シートを使いカラフルな万華鏡」

です。8回全部出席した団員が2名と出席率の高いやる気



のある団員たちにとっ

て、今年最後の活動となります。地球環境は、日本はもちろん、世界が地球規模で考えなければならぬ問題です。4年生の児童たちにとってどれくらいの問題意識が芽生えているか、少し疑問ですが、子どもの目線で地球環境を考えることも大切な内容かと思えます。日立理科クラブでは、小中学校での授業支援の中でも、地球環境問題は折に触れ、取り扱ってきている内容でもあります。今回の活動では、地球の大気と二酸化炭素濃度の関係を地球の歴史にさかのぼって考えたり、温暖化の原因が二酸化炭素の濃度に関係し

ていること、気温の上昇が食糧問題や水不足にも関係することなどを、学んでいました。説明の途中で、質問コーナーを設け、団員たちの予想の答えを聞いたりしながら、問題意識を持たせるようにしていました。



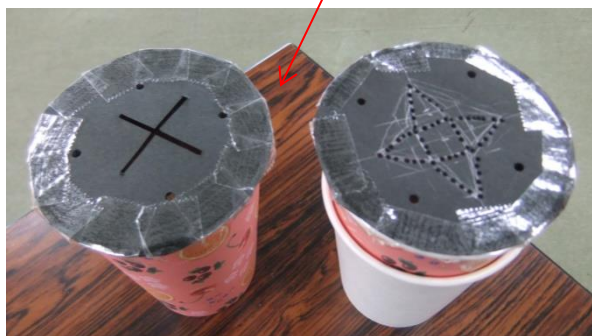
また、日立理科クラブ自作の大型実験装置で、二酸化炭素と大気温度上昇の関係や、ペットボトルを使った二酸化炭素の性質についての実験も行われました。

ドライアイスを使った実験では、私もやりたいと興味・関心がとても旺盛でした。保護者の方も一緒に活動に参加していましたが、講師が、資料を使って説明して

いる地球環境問題の深刻な内容に、驚きを持って熱心に聞いている様子が伺えました。大人の私たち一人一人の問題意識が問われている内容だということを改めて認識させられました。最後の工作の時



間は、分光シートを使った虹の7色の万華鏡作りです。時間が足りなくなってしまったので、作り方を一通り学び、一つは仕上げていましたが、残りは宿題として家庭で作ることになりました。



団員たちが大人になる頃は、より深刻な地球規模の社会問題となっている地球環境、未来の地球の姿を真剣に考えていくことが大切であることを投げかけた活動だったと思います。今回も2時間30分の活動、団員たちのパワフルな学習意欲が最後まで続いていました。

